

高橋正子県政報告

ご家族の皆さままでご覧ください。

通常号 定価1部100円(消費税込み) 年間購読料3,000円(送料含む)

民主 号外
PRESS MINSHU

2015年2月

一宮市地域版

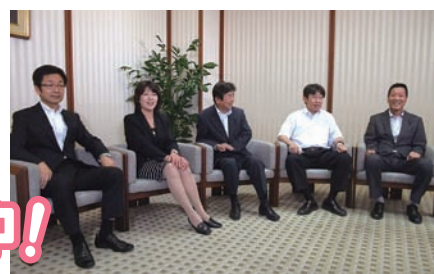
民主党プレス民主編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp http://www.dpj.or.jp編集・発行
高橋正子事務所
〒491-0044
一宮市大宮1-3-6 グランドメゾン大宮1F
TEL(0586)71-2900お茶の間
PRESS再び、
地域から。議会活動に
スポット愛知県議会議員
高橋 正子(一宮市選出)3期12年の
集大成

平成15年に愛知県議会議員に初当選以来、毎年1回本議会に登壇。長年の編集者人生で培った“直感と感性”で「時局の諸課題」にスポットをあてた質問に一貫してきました。“時代背景”で問題化している県政の諸問題にメスを入れた議会質問は、4ページ以降でまとめました。

名古屋港管理組合議会での活動

名古屋港に新施設が
続々オープン! NEWS

2014年度

警察委員会副委員長、議会運営委員会副委員長
民主党愛知県議員団副団長として活動中!



平成25年度～26年度 名古屋港管理組合議会議員を務めています

名古屋港管理組合とは

名古屋港を国際港湾として開発・発展させるため、愛知県及び名古屋市を母体として一部事務組合形式で設立された特別地方公共団体。名古屋港の港湾管理者として、名古屋港の開発・運営から将来計画の策定、船舶に対する諸サービスまで、多岐にわたる業務に携わっています。



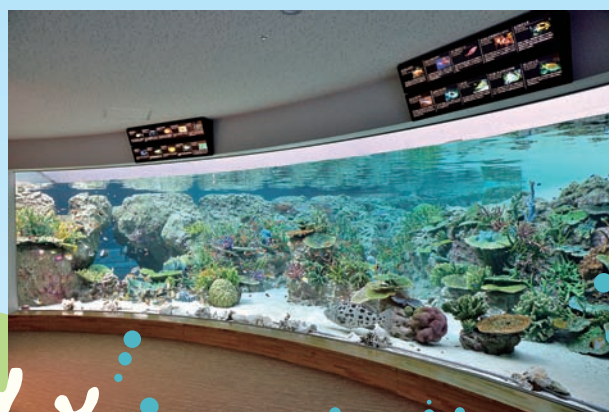
NEWS

名古屋港に新施設が続々オープン！

名古屋港水族館の南館最大水槽「サンゴ礁の海」が平成26年12月20日にリニューアルオープン！

愛知県内の人気の観光施設「名古屋港水族館」に昨年12月20日リニューアルオープンした、南館サンゴ礁大水槽が大人気！水量640トンを超えるこの大水槽「サンゴ礁の海」はより自然界に近づけた造形になっていて、名古屋港水族館初となる本格的な生体サンゴの飼育・展示にチャレンジする。

1階にはサンゴ礁の海「水中トンネル」やスペースを広くとった観覧ホール、2階にはサンゴ礁の海の浅瀬部分に生体サンゴの展示など、サンゴ礁に生息する生物たちを楽しめる新エリアは必見！



名古屋港は、日本を代表する国際貿易港

総取扱貨物量は2億824万トンで12年連続日本一！
貿易額は16兆3,103億円で4年連続日本一！



名古屋港は、明治40年（1907年）に開港し、4市1村（名古屋市、東海市、知多市、弥富市、飛島村）にわたる広大な陸域と水域を有し、世界約160の国・地域と結ばれている。

コンテナ貨物のみならずバルク貨物や完成自動車を取り扱う総合港湾として、日本の経済と産業の成長を牽引する「国際産業ハブ港」の実現と、さらに人々に親しまれる港を目指す。

ガーデンふ頭の名古屋港水族館では、平成26年12月20日に南館サンゴ礁大水槽がグランドオープンするとともに、平成26年7月に開館30周年の節目を迎えた名古屋海洋博物館も更に魅力的で楽しめる施設として平成27年3月のリニューアル。

また、金城ふ頭には、リニア・鉄道館、国際展示場、フットサルアリーナ及び結婚式場などに加え、名古屋市が進めているレゴランド開発構想など新たな魅力づくりが進行中！



名古屋港ポートビルの「名古屋海洋博物館」平成27年3月末にリニューアルオープン予定！最新技術の「操船シュミレーター」を導入！

平成26年7月に30周年を迎えた「名古屋港ポートビル」は、平成26年4月1日から展望室をリニューアルオープン。さらに平成27年1月中旬から「名古屋海洋博物館」を改修するために休館し、平成27年3月末の完成を目指し館内のリニューアルを実施する計画。「日本一の国際貿易港・名古屋港」をテーマに、港の役割や人々の暮らしと関わりなどを展示するほか、来館者自らが船を操船し、名古屋港のクルーズの疑似体験できるコンピューターグラフィックを駆使した最新技術の『操船シュミレーター』を導入する。



世界で人気の「レゴランド」が名古屋にやってくる！金城ふ頭に平成29年春オープン予定！

名古屋港管理組合は、金城ふ頭中央部において、交流拠点開発を実施している。現在、名古屋市が進める、レゴランドを核とした複合開発の実現にむけ、金城ふ頭の交流拠点開発と物流が両立するよう名古屋市とともに調整を進め、さらなる賑わいの創出に向けて取り組んでいる。

レゴランドが名古屋港発展に有益な中核施設となることから、名古屋市への貸付予定地（約7.8ヘクタール）のうちレゴランド用地（約2.1ヘクタール）の工事期間中の無償貸付契約を行った。平成27年1月から工事着工。



《レゴランドとは》

世界的に展開する子供向けテーマパーク。2～12歳までの子供とその家族が主な対象で、運営会社はヨーロッパ最大で世界第2位のアトラクション・テーマパーク運営グループのマーリンエンターテインメント・グループ。レゴブロックの可能性をテーマにした双方向的で知育に配慮した体験型の乗物・アトラクション・ショーが特徴で、イギリスやデンマークなど全世界に6施設。金城ふ頭で計画する「LEGOLAND JAPAN」は、事業規模約13ヘクタール。

「マーリン社提供」



長年の編集者人生で培った“着眼点”で、「時局の諸課題」にスポットをあてた質問

3期12年の議会での質問

(抜粋)



初登壇！平成15年9月議会の一般質問
温泉ブームの中で「天然温泉偽装問題」に着眼！



12年間の本会議での質問内容は、
すべて新聞紙上で取り上げてもらいました！



珍百景

平成20年6月の一般質問で「高齢ドライバーの安全運転対策」について質問した時、突然、自民党の高齢議員から「高橋議員の質問は、あたかも高齢者が交通事故を続発させているかのようできわめて遺憾！」と議場で批判。挙句のはてに女性ドライバーの方がマナーが悪い！と持論を展開し、議場は騒然。私は何も高齢者ドライバーが悪い！という趣旨の質問ではなかったのに…。議場で「チョット待った！」の発言は4年ぶり。めったにないこと！

時代の「ブーム」ゆえに
発生する諸問題に着目！

温泉ブーム



温泉ブームの裏側で源泉が枯渇の危機？！
愛知の温泉は大丈夫？県が実態調査へ。

全国の名温泉地で過剰な掘削により温泉が枯渇する事例が相次ぎ、水道水を沸かしたり、入浴剤を添加して「温泉」と偽る「天然温泉偽装問題」が発覚。温泉は「限りある天然資源」だということを温泉提供者も利用者也認識しなければならない。しかし、本県の名温泉地でも天然温泉の偽装が発覚したことから、全体的に本県の温泉の湧出状況や温泉施設の現状と今後の調査をどのように行っていくのか？を質問。また、環境省は温泉成分の分析はおおむね10年ごとに…と通達しているが強制力はない。今後、天然資源だからこそ成分の変化も予想されることもあり、安心して温泉を楽しんでもらうための再分析、あるいは成分表示の適正掲示など行政指導をどのようにおこなっていくのか？をあわせて質問。私の温泉ネタは、なんと平成15年9月議会以降、3回にのぼる。

- 平成15年9月議会 温泉偽装問題からみる、本県の温泉施設への行政指導について
- 平成17年6月議会 改正温泉法スタートの中で問う温泉表示と源泉保護について
- 平成21年6月議会 愛知の温泉の状況と温泉資源保護への取組について

質問のその後

源泉の湧出状況や温泉成分表示の適正な掲示、そして温泉源保護の観点から過剰な汲み上げの是正など、本県では毎年1回、温泉施設への定期的な立入調査を実施するようになった。環境省からの通達で強制力もなかった「おおむね10年ごとの源泉成分の再分析」についても県がしっかりと指導していくことになった。

ペットブーム



通常の飲食店の営業許可と
「ペット同伴OK」の飲食店の営業許可と
申請が同じでいいの？

平成17年6月議会 ペットを同伴できる飲食店の
営業許可申請について

ペットブームの中で、ペット同伴OKのカフェやレストランも増加。本来なら食べ物を扱う店への動物同伴は食品衛生上好ましくないというのがこれまでの常識。そもそも、飲食店を開業する場合は各保健所に営業許可申請を出さなくてはならないが、平成17年時点で、「動物同伴OKの飲食店の営業許可も、通常の飲食店の営業許可の範疇で処理されている」ことに疑問。ペットOKの飲食店は、通常の食品衛生法上の飲食店営業許可とは異なった営業許可方法にするべきではないか？と質問。

質問のその後

全国で初めて愛知県で動物同伴を認める飲食店における食品の衛生確保を図るため「いわゆる『ドッグカフェ』に対する衛生指導要項」を平成17年10月17日に制定！その中で、営業許可申請書にいわゆる「ドッグカフェ」である旨を備考欄に記載する…ことになった。

ペットとして飼いきれなくなった
犬猫の殺処分ゼロを目指す！

平成25年6月議会 犬猫の引取と殺処分の減少を目指す
「改正動物愛護管理法」について

ペットとして飼いきれなくなった犬猫が県の動物保護管理センターに持ち込まれ、最終的には殺処分されるケースは後を絶たない。平成24年度に殺処分されたのは犬856頭、猫1187頭。平成18年度と比較すると犬は約半数に、猫は約2割にまで激減している。平成24年9月1日からは「改正動物愛護管理法」が施行され、自治体は犬猫の引取を拒否できるようになったことで、「殺処分ゼロを目指す」本県の取組と、東日本大震災でも大きな問題となったペットの災害対応について質問。

質問のその後

引取られた犬猫の新たな飼い主に探す譲渡会を今後とも一層充実させるとともに、災害発生時においてはペットを連れて同行避難することが動物愛護の観点からは必要。しかし、避難所では動物が苦手な人もあることから、避難所の設置主体である市町村に対して同行避難を想定したペット対策マニュアルの策定を進めていく。

交通安全対策



自転車は「軽車両」で、法令違反は罰金も。

平成18年6月議会 自転車の道交法違反
取締り強化策について

自転車の運転マナーの悪さと事故が増加していることから、自転車を運転する時のマナー向上と、自転車の取締りも強化され交通違反を犯せば自動車並に処罰されることをどのように周知していくのか？また「自転車の飲酒運転」の取締りについても質問。

質問のその後

一般社会人への自転車安全通行とマナーの啓発の機会として、運転免許更新時を利用。また、取締りも悪質な違反者には赤切符を切るなど強化し、増加する自転車での事故を減らす取組みを進めている。

高齢者ドライバーの事故が10年間で2倍！
警察では運転能力チェックと運転指導を強化。

平成20年6月議会 高齢ドライバーの
安全運転対策について

高齢者ドライバーが加害者となる事故が増加。アクセルとブレーキを踏み間違えるなど高齢者ゆえの運動・運転能力の衰えが影響したとみられる原因が目立つ。高齢ドライバーの事故はここ10年で2倍以上となり、今後、高齢者ドライバーが増加していく中で、高齢ドライバーの事故防止と安全教育をどのように推進していくのか質問。

質問のその後

指定自動車教習所等において、高齢ドライバーに実際に運転してもらいその結果に基づき警察官や教習所の指導員が運転指導を行うなどの参加体験型の講習会の実施。

運転マナー「名古屋走り」が交通事故増加の原因？

平成24年9月議会 交通事故死者数
ワースト1位返上への取組について

名古屋には、交通ルールを守らない、マナーが悪いドライバーが多いといわれ、それは通称「名古屋走り」といわれている。方向指示器をださない、無理な車線変更に割り込みなど、モラルの低さにこれと交通事故との関係は大いにあると県警のアンケート調査でも明らかに。そこで、この「名古屋走り」対策へ質問。

質問のその後

「名古屋走り」は、法令に違反する悪質な運転行為として、県警では交通事故の原因にもなっていることから取締りを強化していく。

医療・救急問題



病院外心肺停止患者を救え！

平成17年 救命救急の課題と
6月議会 今後の取組について

～救命講習、自動体外式除細動器(AED)、救急救命士の気管挿管認定～

日本では年間約4万人が心臓疾患が原因での突然死で亡くなっている。119番通報して救急車を要請しても、到着するまでに8分はかかることから、必要なのはそこに居合わせた人の人工呼吸や心臓マッサージなどの救命処置。この救命処置が施されたかどうかで救命効果に大きな差が出る。さらに、大幅な救命率の向上につなげるために一般の人にも使用が解禁になった「自動体外式除細動器(AED)」の効果。心停止から3分以内に除細動器を使用すれば7割以上の人が助かるというが、ほとんど馴染みのないこのAEDを今後、どのように県民に普及していくのか質問。

質問のその後

馴染みのない、心肺蘇生に大きな威力を発揮する「AED」に対して、私の質問を機に学校や公共施設、駅や空港などに積極的に配置。10年後、愛知県が作成したホームページ「あいち AED マップ」の登録数は4,300件ほどに。そして愛知県のAEDの普及率は世界屈指に！あわせて、救命救急講習会も職場や地域で積極的に開催され、救命率向上に期待されている。

家賃、給食費、そして病院での治療費も払わない人が…。

平成18年 県立病院の治療代未払い問題にみる
6月議会 未収金対策の課題と取組

県立病院に限らず、どこの医療機関からも聞えることが、治療費を支払わない患者があとを絶たないということ。本県の県立病院でも年間にして1億円以上の治療費が滞納されている。その未収金は病院運営を大きく圧迫していることから、未収金の回収対策について質問。

質問のその後

すぐに現金が用意できなくても、治療費の支払いがクレジットカードでできるようになったことと、未収金の回収業務を弁護士事務所などに委託して未収金の回収率向上を強化！

力士の急死による死因究明が社会問題に。

平成19年 非自然死体の
12月議会 死因究明制度について

大相撲・時津風部屋の力士が急死した事案以降、日本の検視体制の現状がクローズアップ。検視は「検死立会医師」と所轄警察署の刑事課員が行なうものの、法医学の専門知識は乏しい。そこで本警察本部として、現場で検視を行なう両者への検視技能の向上と、検視体制の強化をはかるべきだと考えるが。死因を事件事故なのか、病死なのか…適切な判断が求められるので今後の検視技能向上に向けた取組みについて質問。

質問のその後

検死立会医師については県医師会で、検視業務に従事する刑事課員には検視実務専科教養や検視講習において法医学などの知識の習得を行ない、誤認検視の防止に努めている。

「がん」の予防と治療への対策が前進しています。

平成20年 愛知県がん対策推進計画について
6月議会

平成23年 がん撲滅先進県を目指すために
6月議会

～愛知県がん対策推進計画アクションプランにみる本県のがん施策、その目標と取組について～

今や3人に1人はがんで亡くなるという時代になり、本県では平成20年3月に「愛知県がん対策推進計画」を策定。今後10年間で「75歳未満のがんの死亡率の20%減少」や「すべてのがん患者およびその家族の苦痛の軽減ならびに療養生活の質の維持向上」を達成することを目指す。その中で喫煙対策や「がん診療連携拠点病院」の役割、これから重要視される「緩和ケア」の充実などについて今後のがん対策への取組みを質問。

質問のその後

がん患者およびその家族の苦痛の軽減や、療養生活の質の維持向上、そしてがんになっても安心して暮らせる社会の実現に寄与することを目指す。平成24年9月議会において「愛知県がん対策推進条例」が議員提案で制定。また、がん治療しながらも働き続けたい！と願う患者が多い中、愛知県がんセンターでは社会保険労務士による相談コーナーが開設された。

救急車のたらいまわしが全国で問題化！

平成22年 救急搬送体制の取組と
6月議会 課題について

安易な救急車の利用と医師不足から、救急患者の受け入れ困難＝いわゆる救急車のたらいまわし＝が社会問題化。救急車を要請して受け入れ先を照会して病院へ搬送するまで30分以上かかるケースも増えており、他県では十数か所病院をたらいまわされたケースもある。本県の場合は救急車のたらいまわしが問題化される事案はないが、今後、高齢化と医師不足、安易な救急車の利用が増加することも懸念されるので、本県の「救急搬送体制の課題と取組」について質問。

質問のその後

本県では全国で初めて携帯電話を利用した「救急搬送情報共有システム」の運用を開始し、重症者受入可否状況をリアルタイムで把握することが可能となった。救急車の搬送体制も比較的スムーズではあるが、国からの通達による「患者の容態に応じた搬送先の病院別リストなどを盛り込んだ『搬送・受入基準』を平成22年度中に定めた。

男女共同参画



女性もイキイキと働き、能力が発揮できる社会へ。

平成25年 女性の活躍で経済を活性化
6月議会 ～愛知版ウーマノミクス取組について

ウーマン＝女性、エコノミクス＝経済の造語で「ウーマノミクス」（女性が経済を元気にする）、少子高齢化で労働力人口が減少する時代に、働く意欲のある女性の労働力市場への参加を促す取組が必要。子育てで退職した女性を含め、女性が働きやすい環境整備への取組について質問。

質問のその後

県庁内に吉本明子副知事をリーダーに「あいち女性の活躍促進プロジェクトチーム」を設置。女性の就労や子育て支援、起業…など女性が活躍できる環境整備が一気に前進。特に、子育てなどで退職した女性の再就職を支援する「あいち子育て女性再就職サポートセンター」が名古屋駅前のウイंकあいちに開設。再就職を希望しながらも不安を抱く女性を支援していく。

地域経済活性化



ご当地ナンバーの誘致合戦が白熱！愛知県から立候補の3地域とも誘致成功！

平成17年 豊田、一宮、岡崎ナンバーの実現するか？
6月議会 御当地ナンバー誘致作戦

走る広告塔＝ご当地ナンバーが平成18年度中に導入されることをうけ、全国の20地域から誘致に名乗りだが。本県からも「豊田」「岡崎」「一宮」が立候補。当初は予算の制限から全国で3～4地域にしか選定されないということで誘致活動は激戦。そこで競争率も高い中、本県で名乗りをあげている3地域のご当地ナンバー誘致作成について質問。

質問のその後

平成17年7月29日、国土交通省が初年度の平成18年度中にご当地ナンバーとして「一宮ナンバー」の導入を決定！あわせて愛知県から要望のあった「豊田」「岡崎」も導入されることに！

悪徳商法や消費生活トラブルが急増！

平成22年 消費者行政充実に向けての
6月議会 諸課題と取組について

高齢者や若者をターゲットに巧妙かつ悪質な手口の消費者トラブルが急増する中、消費者にとっての駆け込み寺である県や市町村が運営する「消費生活相談窓口」が自治体の財政難で未設置な市町村や月1回の開設など、相談者のための窓口として機能が不十分なところがある。県として、こうした弱体窓口へのサポートをどのように考えていくのか？また、悪徳商法にひっかからないためには、子どものうちからの学校での消費者教育が必要だと言うが県の所見を質問。

質問のその後

消費生活相談窓口が未設置の町村には、開設に必要な資格を有する消費生活相談員の紹介や、機材や事務用機器の整備などをサポートし、県内のすべての自治体に消費生活相談窓口を設置。学校での消費者教育についても消費生活講座や研修をおこなっていく。

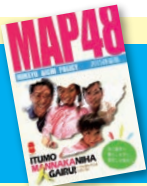
議会と議員活動の見える化を推進！

県政座談会などを開催し、県議会を身近に感じてもらえる取組をしています。

少人数からの座談会・講演会も開催しています。

お気軽にお問い合わせください。





民主あいち県議団が 政策集を作成!

民主党愛知県議員団では、2015年度以降に取り組むべき重要政策を48項目に絞り込んだ「2015政策集MAP48」=M民主・Aあいち・Pポリシーを作成。県民皆様の「命」「雇用」「暮らし」を守り、「安定」した愛知を目指す4つのキーワードのもと、48項目を8つに区分して重点的に対応すべき政策内容をまとめました。

1. 南海トラフ巨大地震に備え、命と暮らしを守る愛知づくり

「第3次地震対策アクションプラン」を策定し、命と暮らしの対策を。また建物の耐震化と家具固定率100%に向けた取組み強化。

2. 安心・安全で持続可能な地域づくり

社会資本の老朽化対策の推進、地域の防犯力を高め犯罪のない地域を。あいちの活力に繋がる地域づくりの推進。

3. 産業育成・経済の好循環で元気な愛知づくり

リニアインパクトを活用した交通・物流のネットワークづくり。航空宇宙関連産業を愛知の成長産業に。農林水産業の6次産業化へ支援。

4. 誰もが生き生きと活躍できる社会づくり

モノづくり人材の育成を進め、モノづくり愛知の底上げを。積極的な企業誘致の推進で雇用の確保を図る。

5. 誰もが学び未来が描ける環境づくり

小中学校全学年での35人学級の実現と、いじめ・不登校対策の推進。公私間格差を是正して私立学校のエデュケーションを維持向上。

6. 健康で元気に暮らせる社会づくり

地域医療・地域保健体制の充実と、「地域包括ケアシステム」の市町村モデル事業を支援。高齢者・障害者福祉の充実。

7. 未来へつなぐ環境先進県づくり

地域資源を活かした賢いエネルギー利用と、低炭素社会構築に向けて「地球温暖化防止戦略2020」の取組みをチェック＆フォロー。

8. 誰からも信頼される行政・議会づくり

着実な行財政改革の取組みで財政の健全化を推進し、地方が自ら決めることができる統治機構を目指す。議員提案条例を積極的に提出。

県政の今を考え、安心・安全・そして元気な愛知づくりに!

高橋正子の モットー

編集者の目線

今、何が問題なのか…、この地域ではどうなのか…、そしてどうするべきなのか…。時局の話題・問題に取り組んでいくには、長年の編集者としての経験をフルに活かし、常に問題意識と好奇心を持つことを忘れることなく「直感と感性」で、県政の諸課題に向き合っていきたいと思っています。

生活者の目線

「命」「雇用」「暮らし」を守り、「安定」した愛知をめざすために生活者の目線、女性の視点、そして30年間取材記者で培った現地現認主義と問題意識をもって、県政の諸課題に取り組んでまいります。

時局の = 話題・問題 に取組みます。



1 男女共同参画施策に取組み、 『ウーマノミクス』を推進します。



女性の目線、女性の視点、そして女性の意見を、さまざまな分野で反映することこそ、地域活性化につながります。女性が活躍できる社会と環境の整備に努めます。

2 災害や犯罪から 「命」と「暮らし」を守ります。

南海トラフ巨大地震に備え、建物の耐震化・家具固定率100%達成などの減災対策と、発災直後からの避難生活対策（女性の視点で）の取組み。また、防犯力を高めて犯罪のない地域づくりを。



3 産業育成と経済の好循環で 元気な愛知を!

2027年開業のリニア中央新幹線の開業を活かした地域づくりと、一宮の地場産業の再生。さらに企業誘致で「雇用」と活力ある街づくりを。



4 子どもを安心して 産み育てられる街づくり。

若い世帯が住んで良かったと思える街づくり、子どもを安心して産み育てられる環境の整備を。また、女性が希望すれば育児をしながら働ける社会、さらに子育てを終えた女性の復職もしやすい社会へ。



5 いきいきと 元気に暮らせる社会を。

誰もが生きがいを持って、互いに支え合える街づくり。地域医療の充実・医療従事者の確保もでき、障害のある人もない人も共に自分らしくいきいきと暮らせる社会の構築を。

プロフィール

- 昭和33年11月 一宮市大宮に生まれる
- 昭和57年3月 愛知学院大学法学部法律学科卒業
- 昭和58年4月 (株)一宮タイムス社編集部に入社
- 昭和63年8月 一宮タウン情報誌「EGG」を創刊
- 平成12年2月 (株)お茶の間通信社を設立、代表取締役役に就任
- 平成15年4月～ 愛知県議会議員に初当選、以後連続当選し現在3期目

愛知県議会議員3期目(平成23年4月以後)の役職・職務実績

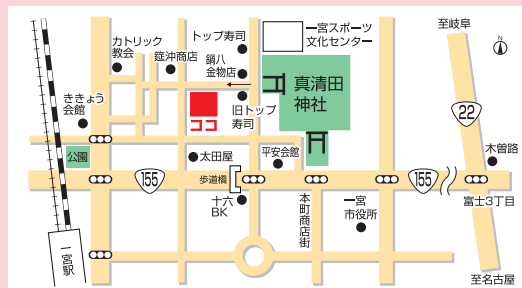
- 平成24年5月～25年5月 民主党愛知県議員団幹事長
- 平成25年5月～26年5月 名古屋港管理組合議会監査委員
- 平成26年5月～27年4月 民主党愛知県議員団副団長
- 平成25年5月～ 民主党愛知県連男女共同参画委員会委員長
- 平成26年5月～ 民主党愛知県第10区総支部代表代行



事務所のご案内



〒491-0044
一宮市大宮1-3-6
グランドメゾン大宮1F
TEL(0586)71-2900
FAX(0586)71-5380



<http://www.masakonet.info>
E-mail 138@masakonet.info